



葉山町

議会だより

145号 令和3年8月7日発行



議会人事が変わりました	…	2
令和3年第2回定例会	…	5
委員会レポート	…	8
一般質問は、11人が登壇	…	12

葉山町議会

検索



写真：「親子の日」 ※表紙説明は裏面にあります。

第1回 臨時会

令和3年5月21日開催

議会人事が変わりました

正副議長選挙の結果、議長に待寺真司議員、副議長に土佐洋子議員を選出しました。また、議会選出監査委員には窪田美樹議員を選任しました。

議長 待寺真司



議長あいさつ

この度、葉山町議会第48代議長に就任いたしました。伝統ある葉山町議会の議長に選任されましたことは、身に余る光栄であり、その重責に身の引き締まる思いです。

地方公共団体の議会議長の権限は、会議の主宰者として、議場の秩序保持権・議事整理権・議会の事務の統理権・採決権があります。

また、議会の代表者として

は、代表権・臨時会招集請求権・委員会への出席発言権となります。議長の権限を理解し把握して、自由闊達な議論を通じて、地方議会の基本的な機能であります住民自治の更なる発展、条例等の立法機能強化、そして町行政に対する監視機能の強化に引き続き努めて参ります。

任期中の具体的な事案として、大規模災害発生時に議会機能をいち早く回復させるため、議会BCP（事業継続計画）の策定、議会基本条例の評価・点検、広報広聴活動の充実を図ります。

公聴機能強化の具体的な活動として、今後のまちづくりの指針となる「葉山町まちづくり憲章」いわゆる町民憲章の草案作りを、議会が先導して、行政とも一体となり制定できればと願い、その一歩を

踏み出したく考えます。憲章を制定する目的は「まちの理想像をかかげて空間環境的な達成目標を示す」「個々人の生活を快いものにするための社会生活的な努力目標を示す」とこととされ、何より住民のまちづくりへの参加意欲を高めるとともに、美しい日本語「和語」を多用している点など、その意義が今日改めて認識されています。

葉山町の長い歴史の中で培われてきました伝統を継承しつつ、今後の町の理想像を描いて、葉山の未来を担う子どもたち次世代へと、希望や夢をたくさん持てる、笑顔あふれる「ふるさと葉山」を継承していくことが、葉山町議会の使命であります。今後とも、ご提案・ご意見・ご要望など、お寄せいただけましたら幸いです。

副議長に選任していただきました。議会の議事運営がスムーズに進みますように、また自由闊達な議論が展開されますように、待寺議長のサポート役として、その職責をしっかりと果たしてまいります。そして、議長選挙に係る所信表明の項目と併せて、各党派・議員から提出された議会改革について検討し、進めていきたいと思っております。

副議長 土佐洋子



副議長あいさつ

コロナ禍の影響を受け、葉山町の行財政運営も急激な変化やニーズに応えなければならぬ状況にあります。

議会選出監査委員として、政策の妥当性など課題を大きな流れの中で把握し、実効性のある監査を目指すとともに、町民の代表として町民の視点に立ち、誠実かつ公正な監査を行う責務を果たす所存です。

監査委員 窪田美樹



監査委員あいさつ

議会選出監査委員として、政策の妥当性など課題を大きな流れの中で把握し、実効性のある監査を目指すとともに、町民の代表として町民の視点に立ち、誠実かつ公正な監査を行う責務を果たす所存です。

議会選出監査委員として、政策の妥当性など課題を大きな流れの中で把握し、実効性のある監査を目指すとともに、町民の代表として町民の視点に立ち、誠実かつ公正な監査を行う責務を果たす所存です。

委員会が所管する内容及び委員の紹介

▶委員会が所管する主な内容

- 政策財政部の所管に関する事項
- 総務部の所管に関する事項
- 都市経済部の所管に関する事項
- 会計課の所管に関する事項
- 消防本部の所管に関する事項
- 選挙管理委員会、農業委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項



笠原俊一 金崎ひさ
近藤昇一 石岡実成 (委員長)
中村和雄 伊藤航平 (副委員長)

総務建設常任委員会

教育民生常任委員会

土佐洋子 伊東圭介 (副委員長)
飯山直樹 山田由美 (委員長)
窪田美樹 荒井直彦 (委員長)
鈴木道子



▶委員会が所管する主な内容

- 福祉部の所管に関する事項
- 環境部の所管に関する事項
- 教育委員会の所管に関する事項

▶委員会が所管する主な内容

- 議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- 町民との会議(企画立案に限る)に関する事項
- 議会ホームページ、議会中継に関する事項
- 議会の広報及び広聴に関する事項



山田由美 金崎ひさ
土佐洋子 飯山直樹 (委員長)
窪田美樹 鈴木道子 (副委員長)
荒井直彦

議会広報常任委員会

議会運営委員会

近藤昇一 伊東圭介 (委員長)
石岡実成 金崎ひさ (副委員長)
伊藤航平 中村和雄 (副委員長)
笠原俊一



▶委員会が所管する主な内容

- 円滑な議会の運営を期するため、議長の諮問機関ないし補佐機関
- 議会改革の検討及び推進

第1回臨時会

5月21日に開催し、補正予算、条例改正等の審議、正副議長の選挙、各委員会委員や監査委員の選任を行いました。

令和3年度葉山町一般会計補正予算(第1号)

歳出

常備消防費

・職員給与費 (39万円)

新型コロナウイルス感染症に係わる防疫作業等に従事した職員に対し特殊勤務手当を支払う。

主な質疑

問 予算の根拠は。

答 基本的に単価3000円。直接患者に接触または1時間以上にわたる作業の場合は4000円。令和2年度以前分の実績が4000円の50件分で20万円。令和3年度分は見込みだ。

・消防活動事業 (124万円)
新採用職員に係わる被服等を購入する。

教育振興費

小中学校情報教育推進事業 (255万円)

※GIGAスクール構想を推進するため、学級数増加教室及び職員室に必要なネットワーク環境を追加整備する。

※義務教育の児童生徒に、ひとり1台のパソコンと高速ネットワーク環境の整備をすること

主な質疑

問 教室の学級数の増加は見通せなかったのか。

答 教育委員会の認識が不足していた。

問 GIGAスクール構想は国が基本的なシステム設計をするべき。他の自治体の対応は。

答 普通教室は国庫補助対象だが、特別教室、体育館、職員室等は補助対象外で町単独の整備となる。

葉山町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症に係わる特殊勤務手当を支給するため。

救護等に従事した職員 (3000円/日)

患者等の身体に接触する作業 (4000円/日)

主な質疑

問 消防職員以外の想定は。

答 事案が発生したときに、個別の状況に応じ判断したい。

問 第1回定例会で1000円と1500円で提案されていたが、金額面だけの変更か。

賛成討論



●近隣市と応援協定を結んで相互連携しているのであれば、第1回定例会で今回と同じ提案がされるべきだったと思うが、今回の提案は評価する。

令和3年 第1回臨時会 表決結果

議案	議員氏名(議席順)	議員氏名(議席順)											結果	関連記事				
		飯山直樹	中村和雄	伊藤航平	山田由美	石岡美成	金崎ひさ	鈴木道子	荒井直彦	笠原俊一	土佐洋子	窪田美樹			近藤昇一	待寺真司	伊東圭介	
議案第21号	専決処分の承認について(葉山町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	-
議案第22号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P4
議案第23号	令和3年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	-
議案第24号	葉山町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○討論	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	P4
議案第25号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	P2

○は賛成 ×は反対

※「除斥」とは、審議の公正を期すために利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度です。

※議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決めます。

第2回 定例会

6月15日から29日まで開催し、補正予算、
条例改正等の審議を行ないました。

令和3年度葉山町一般会
計補正予算(第2号)

歳入

国庫補助金

・個人番号カード交付事業費
補助金 (378万円)

・消防ポンプ自動車の整備に
対して (1215万円)

・里山の魅力創造事業委託等
に対して (131万円)

・新型コロナウイルス感染症
の影響による子育て生活支援
のための給付金等
(2244万円)

教育費県委託金 (42万円)

教師の授業改善や家庭、地
域との連携による児童・生徒
の学力向上を図るための事業
に対して交付

コミュニティ助成事業助成金 (490万円)

宝くじの社会貢献広報事業
として交付。一色第四町内会、
木の下町内会及びイトーピア
葉山自治会の備品整備

主な質疑

問 自治会等からの要望はす
べて助成されるのか。

答 応募が3団体だったので、
すべて採択された。

問 同じ備品でも団体によっ
て金額の差があるのはなぜか。

答 応募のとき、各自治会等
の申請金額に差があったもの
である。

問 自治会等の負担金に差が
あるのはなぜか。

答 10万円刻みの補助制度な
ので、端数は自治会等の負担
となるため、差ができる。

歳出

新型コロナウイルスワクチン 予防接種事業 (332万円)

接種体制の強化を図るため、
会計年度任用職員を増員

主な質疑

問 ボランティアをお願いし
ない理由は。

答 詳細な指導が必要なので、
雇用した職員を充てたい。

問 何人の増員か。
答 4人だ。



ワクチン接種会場

問 正規職員の増員も必要で
はないか。

答 事務に関わる職員は現在
8人だ。7月の人事異動の際
に助力できるように考える。

問 職員の残業時間は。

答 5人の対象者がおり、4
月は平均55時間、5月は平均
100時間の時間外が発生してい
る。

街路整備事業 (78万円)

都市計画道路整備のため

主な質疑

問 今回は測量予算だが、歩
道整備は何年後になるのか。

答 令和6年度に工事費を計
上予定だ。

問 すでに私有地の部分を、
町道として舗装している様子
がうかがえるが。

答 所有者の承諾を得て道路
形状にした。

問 使用部分の固定資産税は、
免除なのか。

答 最近その処置をした。



用地購入予定地

町長行政報告

- 町内の新型コロナウイルス累計患者発生数は、5月19日現在111人、6月13日現在117人だ。
- 湘南国際村センターの受入患者数は6月13日現在24人。
- 行政手続について、法律等の定めによるものを除いた711件のうち695件を、令和3年6月1日以降、押印を廃止することとした。

債務負担行為補正

(15億93334万円)

クリーンセンター再整備工事、令和3年度から6年度まで

主な質疑

問 専門的知見を有したアドバイザーの雇用は。

答 プロポーザルの支援業務を発注済であり、業者はすでに決定している。それが専門的知見を有したアドバイザーと考えている。

問 令和3年度の予定は。

答 12月に業者によるプレゼンテーションを受け、年内に最優秀提案者を決定する。令和4年1月に仮契約をする。

問 生ごみの資源化は日量10

答 数値は、実証実験の中で調査・研究する。

問 12月のプレゼンテーション後、改正はできるのか。

答 想定していない。

問 令和3年度に再び補正が必要となる可能性は。

答 令和3年度の支払いは想定していない。

葉山町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

押印を廃止することによる条例改正

葉山町手数料条例の一部を改正する条例

個人番号カードの発行を地方公共団体情報システム機構が行う事務となったための改正

葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症に感染した方の傷病手当金の支給対象となる期間を令和3年9月30日まで延長

主な質疑

問 なぜ9月末までなのか。

答 国からの財政支援の期間に合わせた。

工事請負契約の締結について

クリーンセンター下水道工事の仮契約を締結

(8415万円)

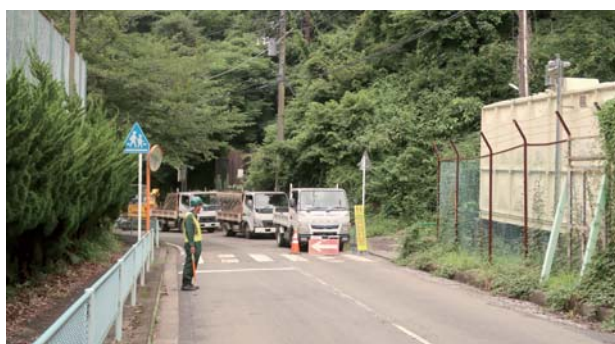
主な質疑

問 工工期間は。

答 契約日から令和4年3月11日までだ。

問 葉山中学校の下水道接続

答 現時点では具体的に考えていない。



下水道工事

令和3年 第2回定例会 表決結果

全会一致の議案・請願・陳情		結果	関連記事
議案第26号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第2号)	可決	P5
議案第27号	葉山町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可決	P6
議案第28号	葉山町手数料条例の一部を改正する条例	可決	P6
議案第29号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	P6
議案第30号	工事請負契約の締結について(クリーンセンター下水道工事)	可決	P6
議案第31号	財産の取得について(災害対応特殊消防ポンプ自動車 1台)	可決	P5
議案第32号	財産の取得について(塵芥収集車 1台)	可決	-
議案第33号	人権擁護委員の推薦について	可決	-
議会議案第3-5号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	可決	P8
請願第3-1号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2022年度政府予算についての請願書	採択	P8
陳情第3-7号	葉山中学校への自転車通学に関する陳情書	趣旨了承	P9

議員懇談会

町長招集による

6月10日

財政収支見通しと大規模事業について

コロナショックによる財政状況を勘案し、延期していた大規模事業（給食センター整備事業・クリーンセンター再整備事業）実施による町財政への影響を把握した上で、事業再開のタイミングを検討するための試算の報告を受けました。

通常収支（大規模事業除く）

令和3年度町税収入見込み額を踏まえ、コロナ禍前の町税収入3年平均より約1億円／年の収支不足、法人町民税も影響が読みづらい状況

通常収支（大規模事業合算）

特に令和4年～6年において収支が大幅に悪化の見込み

主な質疑

問 大規模事業についての説明はいつ聞けるのか。

答 ※F M会議を開いて、クリーンセンターを優先すると判断した。給食センターは延期するが中学校給食は実現に向けて進みたい。

※公共施設のあり方検討会

問 給食センター延期後のタイムスケジュールは。

答 9月時点で報告できるようにしたい。

問 公共施設の大規模修繕はどう考えているのか。

答 再スタートのような感じで、施設を分類して先進自治体の取り組みを検証しながら話し合っている。試算は公共施設課で出していく。保有・保全の方針は令和3年度末に示したい。

問 公共施設も含めた上で財政見通しを出すべきだったのでは。

答 今後、中期財政見通し等について、もう少し、しっかりしたものを出せると思う。

問 「良い・悪い・中間」など、3パターンくらいの財政

見通しを出すべきでは。

答 そういう意見は出たが、時間不足だった。厳しめの作り方をしている。

町当局からは、複数の大規模事業を同時期に実施することの財政への負担、学校給食センター事業は先送りせざるを得ないなどの見解が示され、今後の教育民生常任委員会で、早期の中学校給食実現に向けた新たな事業の説明があるとの報告を受けました。



下水道施設

(単位：千円)

歳入	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
町税	5,663,100	5,594,386	5,636,785	5,615,560
地方交付税	720,000	735,000	735,000	735,000
国・県支出金	1,800,534	1,820,399	1,849,238	1,830,049
町債	704,100	400,000	400,000	400,000
臨時財政対策債	600,000	400,000	400,000	400,000
その他	1,653,386	1,628,677	1,761,554	1,586,587
歳入合計①	10,541,120	10,178,462	10,382,577	10,167,196
歳出	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
人件費	2,950,677	2,881,233	2,885,168	2,953,759
扶助費	1,951,296	2,022,767	2,051,643	2,055,557
公債費	524,204	537,264	511,484	501,004
投資的経費	441,098	652,424	777,512	504,664
繰出金等（特別会計+事業会計）	1,907,817	1,912,669	1,916,684	1,911,380
その他	2,726,028	2,800,374	2,690,472	2,671,353
歳出合計②	10,541,120	10,806,731	10,832,963	10,597,717
通常収支にかかる差引 A (①-②)	0	▲ 628,268	▲ 450,386	▲ 430,521

通常収支の見通し

(単位：千円)

	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
通常収支 A	0	▲ 628,268	▲ 450,386	▲ 430,521
大規模事業収支額 D	0	▲ 79,387	▲ 520,692	▲ 102,012
合計 (A+D)	0	▲ 707,655	▲ 971,078	▲ 532,533

収支見通し合計



ごみ焼却施設

皆さまから寄せられた **請願・陳情** の審査

さまざまな、町の **問題・課題** の改善、対策

委員会レポート



各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。



総務建設

葉山町暴力団排除条例及び関連法規の遵守の重要性の確認を求める陳情

「大濱宅地開発」における開発事業者との懇談の場において、事業者側から暴力団と関係していると受け取れるような発言があり、その際、同席した町職員から発言を制止するような行動はみられなかった。

葉山町で宅地造成や建造物建築事業に関連して、事業者等が暴力団等の威力を示し、地域住民に対し強圧的な態度をとること、また行政に対しても圧力をかけることがないよう町の確固たる姿勢を示すよう求めているものです。

審査結果

陳情提出時に意見陳述の申し出があり、協議の結果、後日、意見を伺うこととしました。

担当課へ、陳情理由に記載された状況確認を行い、継続審査を決定しました。

委員長 石岡実成

教育民生

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2022年度政府予算についての請願書

小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられることが決まったが、今後、これまでの加配定数を減らすことなく、計画通り着実に学級編制標準が引き下げられることが大切である。少人数学級の必要性は、中学校においても変わらないことから、小学校に留まることなく実施を進めていくことが必要である。

また、障害のある子どもへの合理的配慮、外国につながるのある子どもたちへの支援、いじめ・不登校に加え、近年は感染症対策を講じながらの学習機会の保障、GIGAスクール構想等への対応が学校に求められているが、一人ひとりの子どもに丁寧に対応するため2022年度政府予算編成において国に対し意見書の提出を求めているものです。

意見書を提出しました

紙面の都合上、内容は要約しています。

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書

2022年度政府予算編成において、次の事項を実現することを強く要望する。

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、小学校同様、中学校においても35人以下学級を早急に実施すること。
- 2 改正義務標準法の計画通り、小学校における学級編制標準の引き下げを着実に実施すること。
- 3 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国負担割合を2分の1に復元すること。

審査結果

委員から「国会からも参議院附帯決議が出され、本請願の方向で進んでいる」「憲法で保障される教育は、日本全体が、均一で良質で十分なものであるべきで、請願を基本として細部の教育環境や教職員の待遇が改善されることに期待したい」「子どもたちの学びの保障のため、請願に賛成する」との意見があり、全会一致により採択し、国に対して意見書を提出すべきとしました。



長柄小学校の授業風景

葉山中学校への自転車通学に関する陳情書

下山口の一部地域から葉山中学校まで徒歩で1時間近くかかり、バス運行ルートからは外れているため、徒歩しか選択肢はない。似た状況は他地域にもあるかと思う。長距離の徒歩通学は大きな負担で、昨今は、猛暑日数も増加しており熱中症の危険もあるため、自転車通学が妥当であると考える。

葉山中学校へ通う生徒に対して長距離の徒歩通学者数、自転車通学の要望者数等の実態に関するアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ自転車通学導入の検討を求めているものです。



葉山中学校の通学路



南郷中学校の通学路

審査結果

担当課から、過去に発生した葉山中学校生徒の死亡事故をきっかけとして自転車通学が禁止になった経緯と、南郷中学校の自転車通学の状況説明を受けました。

委員から「趣旨は理解できるが、陳情ではアンケートの実施と結果を踏まえて自転車通学導入の検討を求めており、すぐに自転車通学に結び付けることは、再び事故が起こりかねず危険である」との意見でまとまり、全会一致により趣旨了承としました。

なお、通学状況の現状把握と安全な通学路や通学方法の根本的な見直しなど、速やかに問題解決に向けて動くことが重要であると認識し、所管事務調査として取り組んでいきます。

所管事務調査

● 中学校給食について
給食センター整備事業の停止延長後の対応として、費用を抑え、中学校完全給食を実現するためサウンディング調査（民間事業者の意見や新たな提案の把握）を実施する。

● ごみと資源物の分け方・出し方について
令和3年8月1日から、粗大ごみの収集と受け入れ業務を民間委託することによる、出し方と手数料の変更

● 分別パンフレットの更新
● クリーンセンター再整備事業について
令和4年第1回定例会に議案を上程する。

委員長 荒井直彦

議会広報

町民との会議

コロナ禍の状況を見極めながら、引き続きワールドカフェ方式やリモート会議等による「町民との会議」を開催することとしました。

また、コロナ禍の影響で延期していた葉山町社会福祉協議会との意見交換会及び葉山

芸術祭実行委員会とのリモートによる意見交換会を開催する予定です。

委員長 飯山直樹

議会運営

議会改革

● 各会派及び各議員に、議会改革項目の提出を要請した結果、52項目の提出があり、それぞれの項目の説明を受けました。

今後、改革項目を検討する委員会を定期的に開催し、取り組めます。

● 陳情提出に関し陳述希望は、口頭から申込書提出に変更しました。

委員長 金崎ひさ

「町民との会議」の申し込み方

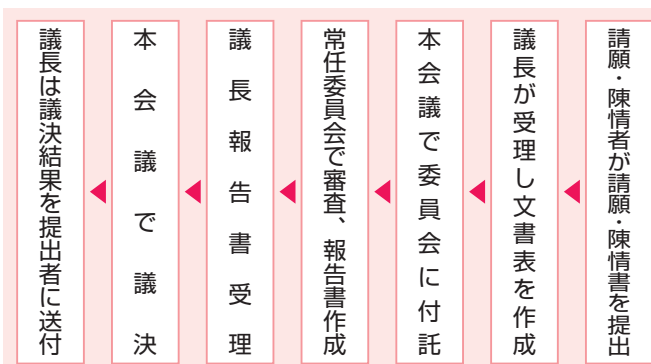
町民の方や団体の方と懇談の場を設けています。議会事務局へ「申込書」を提出して下さい。広報常任委員会にて日程、担当委員会等を調整し連絡いたします。

請願・陳情の提出の仕方

町政について、意見や要望があるときは、請願書や陳情書を議会に提出することができます。

提出された請願書や陳情書は、年4回開会される定例会で、審査等の対象となります。請願書提出は、葉山町議会議員（1人以上）の紹介が必要です。

第3回定例会で審議される請願・陳情の締め切りは、9月2日正午です。



議会からの提案

みなさまの声が実現しました



消防署前案内板

新しくなり英語表記が加わりました。



サーマルカメラ

役場2階出入口にも付きました。



安全対策

通学路の安全のため塗りました。



山火事防止看板

分かりやすくなりました。



役場内トイレ

手洗いの一部が自動水栓になりました。



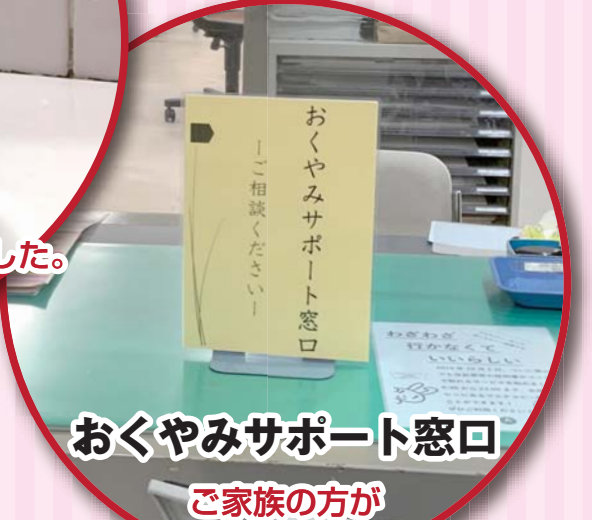
ウォーターセーフティー

町主催のマリンスポーツや学校の水泳授業の際に安全指導がなされるようになりました。



図書館トイレ

蛇口がハンドル式になりました。



おくやみサポート窓口

ご家族の方がお亡くなりになった後の手続きが窓口一つに集約されました。

御用邸がつなぐ縁

栃木県那須町と友好都市に

現在、全国に3カ所ある御用邸のうち、葉山御用邸を有する当町は那須御用邸を有する栃木県那須町と、5月8日に友好都市協定を結びました。

これまでの経緯

「御用邸がある町として友好関係を築きたい」という葉山町議会議員有志の提案がき

っかけとなり、まちづくりや議会改革などについて情報交換をしてきました。また、両町長もお互いの資源を生かした交流によって両町の活性化につなげたいとの考えや、大規模災害時における協力体制の構築に力を入れる姿勢を共有し、表敬訪問やオンラインによる懇談を重ねてきました。

友好都市協定締結式

締結式には、平山幸宏那須町町長と山梨崇仁葉山町長のほか、池澤昇秋那須町議長、伊東圭介葉山町前議長、来賓として宮内庁那須御用邸管理事務所の佐藤時仁所長が出席しました。

両町長は、協定書に署名し、産業、経済、観光、文化、教育、防災など幅広い分野での交流を通じて相互の信頼と理解を深め、友好関係をさらに推進していくことを確認しました。

災害時における相互応援協定締結

早急に取り組む分野として、梅雨末期の大雨や台風シーズンを控え災害に備えるため、災害時における相互応援協定を結びました。葉山町が県外の自治体と災害時応援協定を交わすのは、群馬県草津町との締結に続き、2カ所目です。

静岡県下田市との今後

現在、下田市の姉妹都市は、山口県萩市と群馬県沼田市と米国のニューポート市です。

葉山町は令和3年9月25日に下田市にて友好都市協定を締結する予定で、その準備を進めています。

この日は、下田市市制施行50周年と御用邸完成50周年にあたり、記念行事が開催される予定です。



左から、池澤議長、平山町長、佐藤所長、山梨町長、伊東前議長



那須連山の春と秋



特産品の金目鯛(画像提供 下田市)

爪木崎水仙園(画像提供 下田市)



下田鍋田浜の海



下田開国博物館

今回は、11人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!



各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会

町政を問う



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

一般質問

窪田美樹

多胎児妊娠の妊産婦健診や産後ケアの事業拡充を



福祉部長

実情をかみ合わせ検討したい

問 産後ケア宿泊は18000円/泊。2泊以上利用しても減額はない。多胎児妊娠の場合、健診回数も増える。他自治体では2泊目半額・生活保護世帯負担ゼロや多胎健診補助の追加をしている。妊産婦健康診査等拡充を。
福祉部長 実情をかみ合わせ検討したい。
問 高齢行方不明者の防災無線を利用した情報提供を耳にする。また、議会には高齢者補聴器購入補助の陳情も上がった。GPS機器の貸し出し等、高齢者福祉充実の検討を。
福祉部長 GPSの状況を調査している。利用減の自治体もあるが、何か策を考えたい。
問 再開時期も決めず給食センター整備を延期。中学校給食提供の方法を考えると、

学校給食センター・中学校給食への取り組み

期間や方式など町の方針も持たず進めるのか。
教育部長 民間の意見や提案を対面方式での市場調査を行ない、9月には結果を出したい。
問 給食センター方式決定時にはなかった小中一貫教育校の考えや建築費等の高騰もある。再調査、再検討の必要があるのでは。
教育部長 FM会議等で検討したい。

「はやま気候非常事態宣言」の取り組み

問 福祉・環境面からも町は、社会福祉協議会のフードドライブに情報発信などの協力は。
福祉部長 さまざまな困窮者の声も上がる中、社協と連携を保ち情報共有は行う。
問 海山にプラスチック容器が流れ着く。町民からも多様な案・声があると思うが、マイクロプラスチック排出を減らす取り組みに、リユース容器使用店舗に設備投資等の補助金はどうか。
環境部長 幅広い話で環境課だけでは決められない。検討する機会があれば検討したい。プラスチックごみゼロに向け事業は進めてはいる。



母子健康手帳と補助券

鈴木道子

南郷上ノ山公園で子どもの自転車練習を



教育長

保護者付き添い練習は可能。利用看板の見直しをする

問 南郷上ノ山公園での、子どもの自転車練習の要望がある。対応をすべきだがどうか。
教育長 保護者付き添い練習は可能だ。利用看板の見直しなどにつき、検討する。
問 夏休み前までに早急を実現すべきだ。
教育部長 早急に準備する。
問 学校でのコロナ感染症防止策について、文科省は身体的距離をとり、教師のフェイスシールド活用も呼びかけている。授業の具体性の視点から、適宜活用を検討すべきでは。
教育部長 英語授業での使用はある。マスクがベストと考えるが、現場に伝え、対応する。
問 ヤングケアラー(家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども)について、当町の状況を把握しているか。

教育長

学校での現状調査では、いなかった。

町長 支援が必要でも表面化しにくく、実態はつかめていない。今後、福祉・教育等関係機関が連携し、現状把握を推進していく。

問 男性は通常の育児休業に加えて、妻の出産直後に計4週間の出生時育児休業導入の「改正育児休業法」が先般、衆議院本会議で成立した。制度の周知を十分にすべきだが。
福祉部長 制度の周知は大切だ。役場窓口等、機会を捉え周知を図っていく。
問 子どもたちはスマートフォンや授業でのタブレット使用で、視力悪化の懸念がある。学校現場での視力保持を注視すべきだが。
教育部長 今後ICT(情報通信技術)化で画面を見る機会が増える。30分に1回位遠くを見るなどの指導をしている状況だ。

問 学校給食の葉山牛提供に関して、教育上、衛生上の視点から教訓とすべき案件では。
教育長 今後、精査をしていく。



南郷上ノ山公園

土佐洋子

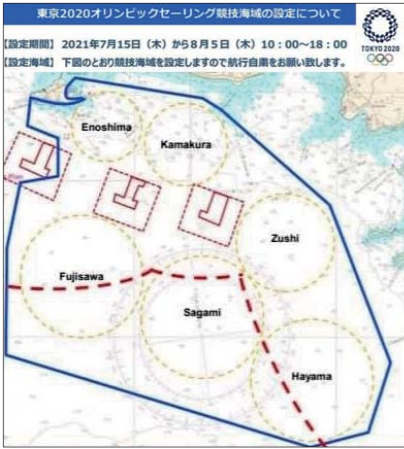


令和4年以降のコロナワクチン
接種の計画策定は

福祉部長
接種計画を
作らなければいけない

健康で安心できるまち

問 新型コロナウイルスのワクチン接種証明書は、自治体が発行するののか。
福祉部長 臨時で接種済証を全員に渡している。町の正式なものは、問い合わせがあれば対応していきたい。
問 特効薬ができるまで、令和4年以降のワクチン接種について、あらかじめシミュレーションしておく必要があるのではないのか。
福祉部長 状況がさまざま変わってくるが、情報収集をしっかりと適切な判断をし、接種計画を作っていく必要はない。
問 肺炎球菌ワクチンは接種できるのか。
福祉部長 出荷が徐々に始まったという情報だ。主治医の先生等に相談してほしい。



セーリング競技海域

問 *SVSを3歳児健診に導入し、異常の早期発見につなげていく必要があるのでは。
※スポーツビジョンスクリーナー（視機能の検査機器）
福祉部長 早期発見・治療につなげられ寄与できる。比較的前向きに考えていく。
問 海水浴場のあり方は。
町長 海の家事業者と協力してコロナ対策を取りつつ、葉山の海を守っていききたい。
問 東京五輪セーリング競技海域の周知は。
町長 競技海域である江の島沖合海域の案内図や、7月15日から8月5日までの航行自粛期間などについて「広報葉山」7月号や町の公式ホームページにて周知する。
問 水難事故発生から救助までの時間短縮のため、機別消防団として水上バイク隊の設置や水上バイクの団体と連携をすべきでは。
町長 迅速に対応できるよう関係団体とさらなる協力体制の強化を図り、消防力の強化につなげていきたい。

伊藤航平



中学校に特色ある
部活動の設置は

教育長
基本的に、生徒の自主的自発的な
参加によって行われる

問 セーリングに関わる部活動や授業を行っているのはどうか。
教育部長 平成17年頃に、上山口小学校のプールで体験学習の実績はある。現時点で、学校や生徒の中から要望がない。
問 「生徒から要望がない」というのは、なかなか生徒から「こんな競技をしてみたい」と言える空気感、言いやすい環境がないのでは。
教育長 生徒のニーズ、発信力を今後どう育てていくかが第一義だ。
問 町にはセーリング関係者や関連ショップ、ゴルフ場やゴルフ愛好者も多くいる。外部講師や環境整備も、地域の支援や応援が見込める。中学校に、特色ある部活動の設置は。
教育長 基本的に、生徒の自主的自発的な参



葉山町にあるゴルフ場

加によって行われる。与えられたものだけで中学校3年間を過ごしていくことが、教育の中で求められている力ではない。総合的な学習の時間で発信力を育てる。教員の働き方改革で、先生たちが部活を見る時代は終わりにかけている。国も地域運動部活動推進事業を立ち上げている。葉山町も地域の方々がどんな形で学校に入ってもらえるか、検討していく。
問 中学校に部活動としてはないが、個人で大会等に出場する場合の学校の取り組みは。
教育長 基本的に、中体連は学校登録。学校長が認めた上で引率を付けて大会に出場する。
問 つつじカードは8月31日で終了するが、今後のアプリの活用はあるのか。
町長 つつじカードの事業は終了する。そこで得られる項目は重要な要素がさまざまあるので、発展的に活用していきたい。

地域経済支援策

荒井直彦



下田市との友好都市
締結のスケジュールは

町長
下田市から連絡をいただいたが、
こちらから何うと回答した

問 那須町と締結後、葉山町のホームページの改修は、いつ行うのか。
政策財政部長 「姉妹都市・友好都市」という形に置き換えて、なるべく速やかに改修し掲載する。
問 町民への告知に関しては、どういう形を考えているのか。
政策財政部長 まずは、手に取っていただけの町の広報紙で、全戸配布という強みもある。
問 那須町の広報紙の6月号には、葉山町との締結の記事が大きく記載されていたが、町は何月号に掲載する予定か。
政策財政部長 今、考えているのは、9月25日に下田市と友好都市締結を予定しているの



那須町の広報紙

で、校了の手続き上からは、両市町との締結記事として、11月号に掲載する。
問 他に予定していることは。
総務部長 友好都市協定は包括的な内容で、更にかに踏み込んで具体的に取組むことができるかが重要であり、災害時応援協定に関しては、7月1日に協定を結ぶ予定である。
問 下田市とは、どのようなスケジュールを考えているのか。
町長 下田市の市長から葉山に伺いたいと連絡をいただいたが、こちらから何うと回答をしている。
政策財政部長 現在、まん延防止措置中ではあるが、解除されれば、感染等に十分注意しながら、葉山町から下田市に何う予定である。

金崎ひさ



ベンチが欲しいとの声が多いが

町長 地域の協力で取り組みたい

問 散歩の途中でちよっと休めるベンチが欲しいとの声が多いが。

コロナワクチン接種

問 ワクチン接種の電話予約はナビダイヤルだ。なぜフリーダイヤルにしなかったのか。

福祉部長 比較はせず、有料を採用した。

問 ワクチン量と打ち手とのバランスは。

福祉部長 返葉医師会が看護師の増員をして、バランスをとり、安定的に派遣されている。

問 接種券配布の際、視覚障害者への配慮は。

福祉部長 特段の配慮は行っていない。

問 注射器等の医療廃棄物の処理は。

福祉部長 鍵をかけて保管し、処理業者が一定の間隔で取りにきて廃棄している。

学校給食センター

問 町と牧場事業主(乙)が交わした覚書に「乙は、土砂災害特別警戒区域の指定解除に必要な工事を行う」とあるが、その内容は。

参事 盛り土をして、崩壊する土砂災害の発生する危険渓流をなくす工事だ。

問 指定解除には、砂防堰堤を作る必要があるのでは。

参事 今は、渓流を埋めてなくすという対策工事を考え、乙と協議している。今後、全体計画が変わるようであれば、砂防堰堤で止めることも当然あり得る話だと思ふ。

問 給食センター用地の造成主は町となっているが、実際は経費も含めて乙が行う。工事中の事故等の責任はどうなるのか。

参事 町に責任がかからないよう協議をする。

問 乙から無償譲渡を受けるベストな時期は。

参事 工事中の事故等の補償的担保が取れたと同時に譲渡を受けるのが良いと思ふ。



ベンチに座って眺めたい風景

石岡実成



南郷交差点 車線拡幅での渋滞緩和策は

参事 県に、交差点改良の要望は出している

町内道路の渋滞緩和策

問 先が見えない南郷トンネル延伸工事を持たずに、提案したような南郷交差点の車線拡幅を先行し、慢性的な渋滞緩和を図っては。

参事 県には、中央道トンネル工事の際に更なる渋滞を招かないように、先行的な交差点改良工事については要望している。

問 週末の度に町内一帯で起きている道路渋滞の対応については。

政策財政部長 さまざまな機会を捉えて、町長と共に関係機関に要望している。今後はバスベイ新設も含め、道路環境整備を渋滞緩和策の一丁目一番地と捉えて、シフトしていく。

子どもの遊び場(公園整備)

問 給食センター候補地に、長柄地区待望の子どもが安心して遊べる公園となるスペースを確保してみては。

町長 給食センター用地として、先方業者とは公共的な貢献という中で話し合いが進んでいる、そういった話が出た経緯はない。

ワクチン接種会場の今後

問 大型台風や豪雨など避難指示が出た際の、ワクチン接種会場の開設基準や中止の際の連絡、再予約などに関して、シミュレーションや対応策はできているか。

福祉部長 どの警戒レベルになったらワクチン会場を止めるのか、今はまだ決定していない。また連絡体制については、大変な作業にはなるが、電話連絡は不可能ではないと思っている。中止にした際の代替措置は、医師会の先生との話し合いの中で、現状、町で行っていない午前中の時間帯や、計画中の夜間の時間帯の接種など、接種機会の拡大を視野に協議していく予定だ。



南郷交差点改良案

中村和雄



支援が必要な町民に 向き合う行政の推進を

町長 非常に大切な問題と思っている

新しい福祉課題への対応

問 生活困窮者に関する相談状況を整理した資料はあるか。その状況を把握できる担当者を置いているか。

福祉部長 相談件数はカウントしていない。福祉全般の相談に関しては、こういった案件が発生しているか、各係の間で意思疎通は図っている。

問 国の調査結果によれば、中学生の5.7%がヤングケアラーだ。本人自身がヤングケアラーだと認識することが先ず必要であり「広報葉山」で取り上げられないか。

※家族の介護や世話を担う18歳未満の子どもの政策財政部長 年間の掲載予定は決まっているが、重要な課題であり、調整したい。

問 ひきこもりは、従来は青少年問題とされてきたが、最近は8050問題といわれるように、中高年のひきこもりの方が多くなり、今や切実な福祉課題となっている。町では、どう把握しているか。

福祉部長 人数は把握していない。実態把握に努めなければと思っている。

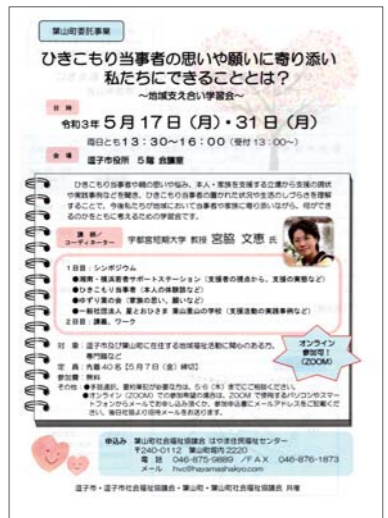
問 ヤングケアラーの問題も、ひきこもりの問題も、従来の福祉行政が想定していなかった問題だ。せめて、生活困窮者の自立支援のための一次相談窓口を町に設置しないか。

町長 町がいろいろいる形でバックアップしなければならぬ大切な問題だと思っている。

葉山のまちづくり

問 総合計画の町の将来像が、大濱宅地開発のような事業を呼び込んでいると思わないか。

町長 葉山町を出た世代が戻ってきてくれる町、葉山の価値が分かってくれる人が来てくれるような町にしたい。



「地域支え合い学習会」のチラシ

近藤昇一



粗大ごみ収集業務委託が
1者入札で行われたが

政策財政部長

結果として
1者しか参加しなかった

問 葉山町はクリーンセンター再整備工事に機会に、粗大ごみ収集業務の民間委託を計画して入札を行ったが、結果は1者しか参加せず、予定価格と落札価格が一致した3828万円で落札。これをどのように考えるのか。
政策財政部長 新規事業なので、落札業者1者から見積りを取って、予定価格とした。結果として、1者しか入札に参加しなかった。
環境部長 仕様書で制限をかけていたので、結果として1者の入札になったと思う。
問 競争性、透明性、公平性を担保するため事業をいったん見合わせるか、クリーンセンター工事期間に限定すべきでは。
環境部長 さまざま検討するところはある。今回の入札は粗大ごみを受け入れる土地



粗大ごみ集積場所予定地（木古庭）

を所有していることが条件となっているため、1者しか参加しなかった。町が粗大ごみと資源ごみの集積場所を確保することで、入札参加者も増えるのではないかと。
町長 可能性を含め検討したい。
問 コロナ禍の下で、地域経済の活性化策は。
町長 つつじカードの振り返りも行い、次の一手について前向きに検討したい。
問 新型コロナウイルスの接種は何歳までか。
福祉部長 18歳までの接種券配布準備を進めている。
問 オリピック・パラリンピックの学校連携観戦プログラムは、中止の自治体も出ている。葉山町の対応は。
教育部長 保護者の責任で、現地集合解散で準備を進めている。
問 中止すべきだ。実施した場合、参加者全員のPCR検査を行うのか。
教育部長 その予定はない。

飯山直樹



大規模事業絞り込みの
要因は数値の乖離では

政策財政部長

乖離の生じないものを
示せるよう努める

問 給食センター計画見合わせの主たる要因は、大規模事業計画の見積り甘さだ。クリーンセンターでは、当初計画から15倍を超える乖離があり、2つ同時はできない。もはや中期財政計画は信頼性が乏しいため、クリーンセンターのみでの数値計画策定および中期財政計画の再改定を要するのでは。
政策財政部長 数値計画は追って提供する。中期財政計画も、乖離の生じないものを目指そう努めたい。
問 コロナショック後の通常収支計画を見る限り、大規模事業どころか通常収支さえ危うい。臨時財政対策債や交付金を当てにせず、自助努力でリスク回避できるよう準備すべきでは。

政策財政部長 各課で過大な予算要求は認めず、大きな財政出動の予測・平準化をすることが、今できる最大の努力だ。
問 クリーンセンター事業は管理・設備・運営等すべての機能を有する一企業体であり、再整備によるコスト削減や収入も発生する。会計は一般会計が良いが、独立した数値管理を行うべきではないか。
政策財政部長 持ちかえて検討する。
問 コロナショックによる個人町民税の減収は予測より軽微であったが、同時に影響を受けている方がいることを示している。全所得者層への救済措置を考え、アナウンスすべきではないか。
総務部長 前年比20%以上収入減の方に対し、税の徴収猶予制度を行っている。あらゆる手法を使い周知を図る。

(単位：千円)

歳入	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
町税	5,663,100	5,594,386	5,636,785
地方交付税	720,000	735,000	735,000
国・県支出金	1,800,534	1,820,399	1,849,238
町債	704,100	400,000	400,000
臨時財政対策債	600,000	400,000	400,000
その他	1,653,386	1,628,677	1,761,554
歳入合計①	10,541,120	10,178,462	10,382,577
歳出	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
人件費	2,950,677	2,881,233	2,885,168
扶助費	1,951,296	2,022,767	2,051,643
公債費	524,204	537,264	511,484
投資的経費	441,098	652,424	777,512
繰出金等(特別会計+事業会計)	1,907,817	1,912,669	1,916,684
その他	2,726,028	2,800,374	2,690,472
歳出合計②	10,541,120	10,806,731	10,832,963
通常収支にかかる差引 A (①-②)	0	▲628,268	▲450,386

通常収支計画(令和3年6月作成)抜粋

山田由美



公園のベンチを
増設すべきだが

町長

課題の方向性が見えれば
取り組む

問 高齢者の健康維持のため、散歩や買い物などの外出が重要だ。途中で休憩できるような、公園のベンチを増設すべきだが。特に葉桜住宅の富士見児童遊園は利用者が多く、新たなベンチが望まれる。
町長 スペース確保や維持管理など課題の方向性が見えれば、取り組んでいきたい。
老々介護・認々介護へのサポート
問 外部の助けを必要とする高齢世帯や孤立世帯に対し、行政側の訪問や、近隣住民による情報提供が重要だ。電話よりメールの方がハードルが低い。町民が民生委員や町内会役員などに気軽にメールできるような、公的なスマートフォンを貸与できないか。

福祉部長 民生委員は、それぞれ通信手段を持って対応している。
南郷上ノ山公園グラウンド共同利用
問 平日に多目的グラウンドが空いている場合、個人や複数家族の共同利用はできないか。今はスポーツ団体のみ利用可となっているが、利用人数の上限や遊び方など規則を制定すれば、試行できるのではないかと。
教育部長 他自治体の状況を調査したい。
学校の校庭・体育館利用
問 少子化が続き、幼児と接する経験が不足している小中学生が多い。保育園などに校庭や体育館使用を認め、触れ合いの機会を作れないか。
教育部長 安全面から難しい。
問 春休みなど、幼稚園や保育園の子どもに、学校に慣れってもらうための利用は。
教育長 学校と幼保の連携については、今後、研究したい。



利用者で賑わう公園

表紙説明

森戸海岸で「親子の日」に基いて撮影されました。

葉山町にはたくさんのアーティストが暮らしています。今回、表紙の写真をご提供いただいたのはブルース・オズボーンさん。「親子の日」を主催されるフォトグラファーです。

来日された79年頃はCM界の映像変革期。先進的な時代を駆け抜け、活躍される写真家です。



親子写真のきっかけは、82年、音楽雑誌でのパンクバンドマンの撮影。親子の見た目のギャップを表現したもので、この写真が反響を呼び、親子写真の依頼が寄せられたことからだそうです。

「すべての人に共通する親子は、芸術のテーマとして大



きな意味を持っている。親子の日のコンセプトは、産まれてきたことを感謝するための意味を込めて」とオズボーンさん。

山口県下松市くだまつでは、親子の絆を考える機会の大切さを認識するため「親子の日」を制定しているそうです。この葉山でも「親子の日」が形になれば素晴らしいですね。

※「親子の日」普及委員会が中心となって普及を行っている記念日です。詳細はこちら



次回定例会は...

9/9-10/14 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	決算特別委員会
9/9 (木)	10/11 (月)	9/30 (木)	9/17 (金)
10/13 (水)	10/12 (火)	10/1 (金)	9/21 (火)
	10/13 (水)	10/4 (月)	9/22 (水)
			9/24 (金)
			9/27 (月)
			9/29 (水)
総括質問	議会運営委員会		
9/15 (水)	10/5 (火)		
9/16 (木)			

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は、質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただいております。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継が、スマートフォン、タブレットでも視聴できるようになりました!!



視聴はコチラ



また、常任委員会の中継、録画動画はYouTubeで視聴できます。



チャンネル登録はコチラ



この機会に、ぜひ、一度ご覧になってください。

録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

議長	待寺 真司
議会広報常任委員会	
飯山 直樹	鈴木 道子
山田 由美	金崎 ひさ
荒井 直彦	土佐 洋子
窪田 美樹	

5月より議会人事が新たにあり、編集メンバーも4人が入れ替わりました。前号までは編集専門家の前委員長のもとで、デザイン性に富んだ完成度の高いものへと大幅にリニューアルしています。

今回は議会だよりのアンケートをもとに、より読みやすくなるよう一部変更を加えました。具体的には表紙を日本語表記にし、一般質問欄では担当部長名を表記するとともに、質問者の写真を小さくして、行数を増やしました。

これから2年間このメンバーで編集作業を行ってまいります。今後さらに読みやすく、内容の充実を図るべく皆さまからのご意見、ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

7月6日 委員長 飯山直樹

編集後記



●議会だより144号の訂正とお詫び 4ページ「暮らしを守る」葉山の【誤】特別勤務手当を【正】特殊勤務手当に訂正いたします。皆さまには、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。